

| | | | | | |
|------|----|-----|--------------------|-----|-------|
| 学校番号 | 10 | 学校名 | 静岡北特別支援学校 南の丘分校 | 校長名 | 原田 満紀 |
|------|----|-----|--------------------|-----|-------|

1 目指す学校像

(1) 教育目標

「夢中」と「笑顔」で共生社会を生きるひと

(2) 目標具現化の柱

ア 主体的に学び、社会参加・自立に必要な力をつけることができる学校【専門性】

(ア) 知的障害教育校として、指導内容の系統化と育成を目指す資質能力の具体化と、OJTによる授業技術と指導力の向上に努める。

(イ) 各教科等の充実をつなげ、深める作業学習の充実を柱に、キャリア発達支援をめざす。

(ウ) 「効率よくかつ迅速な」業務と「なごやかにおだやかな」職場づくりに努める。

イ 安全・安心な生活ができる学校【安全・安心】

(ア) 教職員自らも人権感覚を高め、生徒の人権尊重の精神を涵養する。

(イ) 教職員、生徒・保護者の連携のもと、命を意識した習慣と安全な生活環境を整える。

ウ 家庭や地域、関係機関と共に歩む学校【連携】

(ア) 立地条件を生かし、地域と協働し地域に貢献することで地域に根ざした学校にする。

(イ) 個別の教育支援計画を活用し、保護者、学校、各種機関等が生徒を中心に連携する。

2 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

| | 取組目標 | 達成方法 | 成果目標 | 担当部署 |
|-------|--------------------------|--|---|-------------------|
| 専門性 | 各教科のめざす姿を明確にした教育課程再編 | <ul style="list-style-type: none"> 職業科、作業学習、総合的な探究の時間等の学部全体計画の作成 教科会活性化による新学習指導要領に対応した南の丘年間学習指導計画の作成 学校図書の整理と充実 | <ul style="list-style-type: none"> 教科会で、新学習指導要領と照らし合わせ、年間指導計画上の課題を見つけたり、修正したりできたと教員 80% 図書コーナー、図書棚を活用し、積極的な利用を呼び掛けた教員 80% | 教務課 |
| | 「学び、考え、発信し合う」姿を引き出す授業の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒が自分の良さを実感し、目の前の課題を自分事として考え発信する授業 SUTで知識を得、授業研で高め合う南の丘OJT、コミュニケーションの広がりを生徒と教職員がともに体感するICT活用とNIE活動の一人一授業 | <ul style="list-style-type: none"> 働き、生活することを自分事として考え行動することができた生徒 100% 授業作りで学習指導要領を読み、参考にした教員 80% 授業研究、OJT、SUTで学んだ知識や技術を活用して、授業をした教員 90% | 研修課 |
| | 業務のスリム化と教職員の時間への意識向上 | <ul style="list-style-type: none"> 掲示板の活用、打ち合わせの時間短縮などによる事務研修時間の確保と時間管理意識の向上 合言葉で進める不祥事根絶計画でなごやかにおだやかなチームをめざす。 | <ul style="list-style-type: none"> 定められた定時退勤日以外にも、定時で帰宅した日があった教員 80% 交通事故事犯 0件 セクハラ、パワハラ 0件 | 部主事 |
| 安全・安心 | 自分の安全と健康を守る習慣と環境づくり | <ul style="list-style-type: none"> 事例検討会や職員研修を活用した、一貫性と継続性を保った生徒指導 自分の身を守る知識・技能の向上 生徒の実態を踏まえ、外部講師を活用した安全・健康、性の指導、自他を尊重する心の教育の系統的で段階的な指導 | <ul style="list-style-type: none"> 自他の命の大切さを理解し、前向きな行動ができた生徒 90% 実態に合わせた性に関する授業や指導が実施できた教員 90% 系統的、段階的な体力向上に向けた指導ができた教員 90% 新体力テスト2種目2点上げる。 | 指導課 保健体育課 |
| 連携 | 分校の存在感の発信と地域活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 地域と協働した作業製品と活動の充実 互いを認め、尊重し合う心を育てる併設高校との授業交流や協働行事 | <ul style="list-style-type: none"> 学校の様子がよく分かったという保護者、参観者 100% 理解外部関係機関 80% | 作業チーフ会 共生共育委員会 |
| | 進路希望実現に向け、本人が納得して進む進路指導 | <ul style="list-style-type: none"> 自らの意志と責任で自己の進路を選択、決定できる生徒を育てる授業実践 保護者対象の学習会や見学会の充実による、保護者と連携した進路指導の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を得ることができ、学校と連携したと答える保護者 90%以上 研修が役に立ち生徒の学びが深まったと答える教員 90%以上 | 進路 |